

石垣島トライアスロン参戦記

松田 知之

今年こそは沖縄開催レースデビューをと思いつけて丸四年になりました。

そもそも宮古島ストロングマンにはずれたときの代替えになればと石垣に申し込んだら、今年は両方選ばれてしまいました。

一発、強行軍2週間で2レースに挑戦してみっかと思いつち、手始めに石垣ショートレースに初参戦です。

朝5時に自宅を発ち、関空からあっという間の2時間で冬の京都から初夏の石垣に到着。

今年の3月に新空港が開港して場所が変わったなんてつゆ知らず、タクシーでホテルまで40分もかかったのには閉口でした。

後発のKTCメンバーに合流すべくあわててバイクを組んでいると、ペダルのねじ山をつぶしてしまい鼻から暗雲がたちこめます。

とりあえず集合場所の受付にメカニックがあるはずなので、タクシーにバイクを積み込んでホテルを出立しました。

バイクの修理も済み、メンバーと合流して説明会受講と思いきや、これもゆるゆるな雰囲気の出席してもしなくてもという感じの説明会です。

さすが沖縄流れる時間間隔からしてちがう。

石垣ベテラン勢の坂尻さん、彩さん、管理人A,Bさん、佐々木さんにくっついてランコースを軽くサイクリング。

トランジットの様子もコース取りも教えていただき、やはり経験者といくと何かと心強しです。



KTC メンバーの宿泊施設には、明日のワールドカップ参加のナショナルチームも宿泊されていて、上田藍選手と2ショット。石垣での唯一の収穫です。



肝腎のレースの方はスイムで撃沈。

2分間隔のウェーブでは混雑解消にならず、周回遅れの選手ともバッティングするなんとも泳ぎにくいスイムとなり、コース

途中の狭くなっている箇所では前後左右に選手があふれ身動きがとれなくなって一時レース中断。

要救護の罵声が飛び交う中、石垣の蒼い海を堪能するどころではなかったのが悔やまれてなりません。

天気もあいにくの曇り空、昼からは雨でとても残念でした。

(ランは涼しくて走りやすかったです。)

レースもショートのため、あっという間にフィニッシュです。

ゆっくりされる他のメンバーを尻目に1泊2日の強行軍のため、さっさと帰り支度。

帰りのタクシーの運ちゃん三線を引きながらお出迎いで、

「運転してくれるなら空港まで弾き語りしてあげるよ」

と冗談とも本気ともつかない軽妙なおしゃべりをしばし堪能しながら帰京の途についたのでした。

那覇空港での乗り継ぎで数時間、4日後には宮古島に参戦するため再びここを訪れるかと思うと、ちょっとげっそりです。

みなさん、レースは余裕をもって楽しめる範囲で参戦しましょう。

